

I. 広東省

1 上半期の広東省の電力消費量が前年同期比 9.28%増

●2018 年上半期の広東省社会電力消費量が累計で 2,930.49 億キロワットとなり、前年同期比 9.28%増となった。前年同期（4.59%）に比べて 4.69%上昇した。社会電力消費量のうち、工業用電力消費量は 1,881.64 億キロワットとなり、広東省社会電力消費量の 64.21%、前年同期比 7.91%増となった。惠州市では工業用電力消費量が 16.35%増だった（24 日付「南方日報」3 面）。

2 上半期の広東省の宅配便件数が 57.3 億件で全国首位

●今年上半期の広東省宅配便サービス企業の業務量が累計で 57.3 億件となり前年同期比で 29.8%増となった。業務の累計収入は 630 億元に達し、前年同期比 23.2%増となった。広東省が 57.3 億件で全国首位となり、次いで浙江省、江蘇省、上海市、北京市、山東省、福建省、河北省、河南省、四川省の順だった（25 日付「南方日報」1 面）。

3 周強・最高人民法院院長が広東省を視察

●23 日～27 日、周強・最高人民法院院長が広東省を視察・研究した。周強・院長は広東・香港・マカオビッグベイエリアの建設に司法サービスと保障を提供していくと述べた。（28 日付「南方日報」2 面）。

4 李希・広東省党書記と馬興瑞・広東省長が何厚鏘・全国政協副主席と会見

●27 日、李希・書記と馬興瑞・省長が何厚鏘・全国政協副主席と広州で会見した。李希・書記は、マカオとの交流・協力をより一層深め、一帯一路の建設や広東・香港・マカオビッグベイエリア建設の重大な歴史的チャンスを共同で掴み、両地の質の高い経済発展を推し進める努力をし、広東・マカオ協力の新局面を切り開いていきたいと述べた。何厚鏘・副主席はマカオ世界観光経済フォーラムの協力、経済・貿易の深化、観光・文化などの領域での協力、広東・香港・マカオビッグベイエリアの共同建設、広東とマカオの協力の新たなレベルまで押し上げることを促進していくことなどを希望していると述べた。会見には欧陽衛民・広東省副省長も同席した（29 日付「南方日報」1 面）。

※何厚鏘・全国政協副主席の経歴

1955 年 3 月 13 日生、旧ポルトガル領マカオ出身。父は「マカオの王」と呼ばれた何賢氏。

1988 年～1999 年 マカオ特別行政区立法会副主席

1999 年～2009 年 マカオ初代行政長官

2010 年～ 全国政協副主席

Ⅱ. 広州市

1 広州市の上半期 GDP は 6.2%増

●上半期の広州市の GDP は 1 兆 652.98 億元となり、6.2%増となった（25 日付「南方日報」1 面）。

2 7月の広州市のナンバープレート平均取引成約価格は 56,152 元

●25 日午後、7 月の広州市のナンバープレート競売結果が公表され、個人用のナンバープレートの最低取引成約価格は 12,100 元、平均取引成約価格は 56,152 元で先月比 1,131 元下落した。業務用ナンバープレートの最低取引成約価格は 10,000 元で、平均取引成約価格は 70,079 元だった（26 日「広州日報」15 面）

Ⅲ. 深セン市

1 南山連合イノベーション実験室が成立

●22 日、中国人民公安大学、深セン市公安局南山分署、雲天励飛、商湯科技が南山公安分署データセンターで映像捜査応用と研究連合イノベーション実験室戦略協力協定調印式典が行われた。四者は警察業務情報化の設立、警察業務の人材育成、科学研究協力、成果の事業化等の方面での戦略協力をまとめた。協定により、四者は 3 年以内に、警察業務の情報化を背景の元、公安業務のメカニズムと技術方法等の方面で科学研究プロジェクト協力を展開していく。同時に四者連合の研究室を設立し、警察業務の情報技術、AI 映像応用及び安全防犯技術応用研究を発展させ、そのうち、雲天励飛は AI 映像領域、研究の深化と新型処理器などの方面で技術提供を支援していく。この他に四者は人材育成協力を盛んに行っていく（23 日付「深セン特区報」10 面）。

2 住宅ローンの貸出金利が上昇

●四大国有銀行、交通銀行、招行銀行、浦発銀行などが、深セン市の住宅ローンの貸出基準金利を、1 軒目購入は 15%増、2 軒目購入は 20%増とした。350 万円の住宅ローンを 30 年で組んだ場合、15%増で毎月約 1,100 元増え、20%増ならば毎月約 1,500 元増えることになる。銀行は住宅ローンの審査を更に厳しくしており、申請から貸出しまで最長で 3～4 ヶ月かかっている。（26 日付「深セン特区報」7 面）。

3 7月の深セン市のナンバープレート平均取引成約価格は 57,802 元

●7 月の深セン市のナンバープレート競売結果が公表され、個人用のナンバープレートの最低取引成約価格は 51,000 元、平均取引成約価格は 57,802 元だった。業務用ナンバープレートの最低取引成約価格は 10,000 元で、平均取引成約価格は 45,982 元だった（26 日付

「深セン特区報」 7 面)。

海南省

1 ボアオ空港の旅客者数が大幅増

●ボアオ空港の今月 23 日までの旅客者数はのべ 31.63 万人となり、前年同期比 37.22%増となった。2018 年末までにのべ 50 万人の突破を見込んでいる (24 日付「海南日報」1 面)。
※ボアオ空港は 2016 年 3 月 17 日に就航を開始した。瓊海市 (けいかいし) の西部にあり、中心地から 12 キロ離れている。ボアオ国際会議センターまで 15 キロに位置する。2015 年 5 月の着工で 2016 年 2 月には試験飛行を行った。現在国内 27 都市と結ばれている (24 日付「海南日報」1 面)。
※2017 年の海南省の海口美蘭空港は約のべ 2,250 万人、三亜鳳凰空港は約のべ 1,940 万人の旅客者数だった。